

# 外国語教育論集

STUDIES IN  
FOREIGN LANGUAGE EDUCATION

— 42 —

2020

筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター  
外国語教育部門

Center for Education of Global Communication  
Foreign Language Education Division  
University of Tsukuba

# 外国語教育論集

STUDIES IN  
FOREIGN LANGUAGE EDUCATION

— 42 —

2020

筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター  
外国語教育部門

Center for Education of Global Communication  
Foreign Language Education Division  
University of Tsukuba

# 目 次

## 巻頭エッセイ

本学における CLIL 教育の促進に向けて

…………… CEGLOCセンター長 磐崎 弘貞 ……i

VUCA ワールドと外国語教育 …… CEGLOC外国語教育部門長 白山 利信 …… iv

## 論 文

Unifying the written with the spoken for language learners? Augmenting and reducing  
information of texts by *Prosodic Writing* and *Syllabic Typing*

…………… RUDE Markus ……3

## 研究ノート

Thinking with Others about the Direction of Science: Enhancing Science Communication  
Skills through Audience Diversity

…………… YAMAGUCHI Mayuri ……23

多文化間共修プログラム開発に向けた課題—実践の考察から—

…………… 恩村 由香子・森 美紀・山岸 愛美 ……39

Innovative Solutions for Remote Education: Combining Live-Streaming and Hybrid  
Classes …… SEKIGUCHI Mio and FRITZ Brandon ……53

## 付 録

平成 30 年度～令和元年度 CEGLOC 外国語教育部門活動報告 …… 白山 利信 …… 71

講演会報告 …… 80

FD イベント報告 …… 81

春期海外語学研修報告 …… 98

夏期海外語学研修報告 …… 100

執筆者紹介 …… 108

『外国語教育論集』投稿規定・執筆要項 …… 109

## 執筆者紹介（掲載順）

磐崎 弘貞（いわさき ひろさだ） CEGLOC センター長  
人文社会系教授（現代語・現代文化専攻） 言語学

臼山 利信（うすやま としのぶ） CEGLOC 外国語教育部門長  
人文社会系教授（文芸・言語専攻） ロシア語学、ロシア語教育学、言語政策  
論

RUDE Markus（ルーデ マルクス） 人文社会系准教授（現代語・現代文化専攻）  
情報科学、言語教育

山口 真由理（やまぐち まゆり） CEGLOC 非常勤講師  
筑波大学生命環境学群グローバル 30 プログラム〔生命環境学際プログラム〕  
非常勤講師  
社会言語学、異文化コミュニケーション、科学コミュニケーション

恩村 由香子（おんむら ゆかこ） 東京国際大学商学部専任講師  
異文化コミュニケーション、日本語教育学

森 美紀（もり みき） 東京国際大学 Japanese Language Institute  
日本語専任講師 日本語教育学

山岸 愛美（やまぎし あみ） 東京国際大学 Japanese Language Institute  
日本語専任講師 日本語教育学

関口 美緒（せきぐち みお） CEGLOC 非常勤講師  
メリーランド大学グローバルキャンパス、アジア 非常勤准教授  
言語学（意味論、語彙論、文法構造論）、アメリカ民俗学研究

FRITZ Brandon（フリッツ ブランドン）  
メリーランド大学グローバルキャンパス、アジア 単位取得学生

## 『外国語教育論集』

### 投稿規定・執筆要項

(2017 年 6 月改訂)

(2018 年 11 月修正)

#### I. 投稿規定

1. 本紀要は、筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター外国語教育部門における教育および研究の振興、充実に資するために発行される。
2. 本紀要の名称を『外国語教育論集』とする（以下、『論集』と記す）。『論集』の刊行は、原則として年 1 回とする。
3. 『論集』を刊行するために当該部門内に編集委員会を置き、投稿規定および執筆要項の制定、原稿の募集、その他の編集業務は編集委員会の責任で行う。
4. 『論集』には、主に外国語教育に関しての、論文、研究ノート、書評、報告ならびに当該部門事業報告を掲載する。論文とは、研究倫理にかなった学術的に優れた論文を指す。研究ノートとは、①学術発表のための、あるいは論文化の可能性を見込んだ発想メモ、②研究動向や事実状況についての展望を述べたものを指す。第 40 号以降、これらの論文および研究ノートは、第 11 項に定める査読体制に基づいて審査される。
5. 『論集』への執筆資格は、以下の項目に該当する者に与えられる。
  - (1) 当該部門に勤務する教職員。
  - (2) 当該部門が開設する授業を担当する教員。
  - (3) 当該部門が開設する授業を担当する教員が指導教員である筑波大学の大学院生。
  - (4) 編集委員会において特別に認められた者。
6. 原稿は、未発表かつ未投稿のものであること。すでに口頭で発表した内容に基づいている場合、その旨を明記してあれば審査対象とする。
7. 論文および研究ノートの場合、単著の著者または共著の第一著者が提出できる原稿は 1 本とする。
8. 投稿者は、CITI Japan、eL CoRE 等の e-learning の研究倫理教育を投稿に先立って 5 年以内に受講していることとし、「誓約書」を編集委員会に提出すること。
9. 投稿者は、iThenticate 等の論文剽窃検知ツールにより自身の原稿のチェックを行うとともに、当該の原稿に、剽窃、データや資料の捏造、改ざん、個人情報等の不当な扱い等の不適切な作成方法が含まれていないという「誓約書」を編集委員会に提出すること。

10. 母語で書かれていない原稿は、投稿に先立って母語話者のチェックを受けておくこと。
11. 編集委員会は、1件の論文につき2名の査読者、研究ノートについては1名の査読者を選定し、査読を依頼する。掲載の可否は、査読の結果に基づき編集委員会によって決定される。掲載の可否について査読者の意見が大きく異なる場合は、別の査読者に査読を依頼する。なお、査読の結果によっては、原稿の修正を求めることがある。
12. 投稿者は、査読結果について編集委員長に不服申し立てをすることができる。
13. 校正は第2校まで執筆者の責任で行い、第3校（最終校）は編集委員会が行う。校正期間（1-3月）に出張等で不在となる場合は編集委員会に事前に連絡すること。
14. 掲載された論文および研究ノートの著者には、『論集』（印刷版）2部を配布する。共著の場合は、各著者に1部ずつ配布する。また希望者には、費用を個人負担としたうえで抜き刷りを作成する。
15. 『論集』（PDF版）は、つくばリポジトリにおいて公開される。

## II. 執筆要項

1. 論文の分量は、論文概要、参考文献、注、図、表、付録を含めて、和文の場合 A4 判 40 字×36 行で 15 ページ程度（欧文の場合 A4 判 74 文字×32 行で 15 ページ程度）とする。制限枚数超過の際は、書き直しを求めることがある。査読結果によっては、採用を見合わせるか、報告または研究ノートとして取り扱う。
2. 投稿する原稿が論文である場合、論文概要（和文の場合 400 字程度、欧文の場合 150 語程度）を付すこととする。
3. 原稿は校正時に加筆を要しない完全原稿とする。校正時の本文の大幅な変更は認めない。
4. 使用言語は、CEGLOC で授業を開設している言語のいずれかとする。
5. 体裁は各研究分野の様式に基づいて構わない。ただし、注は本文の後に一括すること（脚注にはしない）。また、参考文献は注の後に付けること。
6. 原稿は、執筆者の氏名を記さずに作成するとともに、執筆者への参照となる記述を削除してアスタリスクで置き換えること。原稿の提出方法の詳細については、原稿募集の通知を参照すること。

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC）紀要編集委員会  
（外国語教育部門）

『外国語教育論集』第42号編集委員

委員長 高木 智世（英語）  
委員 モリス ジェームズ（英語）  
ラーソン マイケル（英語）  
納谷 亮平（英語）  
金谷 壮太（特任研究員、フランス語）

編集後記

『外国語教育論集』第42号の刊行に至るまでの道のりはそれほど平坦なものではありませんでした。予想しなかったような事態も生じ、著者との間では細かなやりとりが何度も繰り返されました。それを一手に引き受け、一つ一つ丁寧かつ的確に対応された金谷壮太特任研究員には本当に感謝しております。納谷亮平先生、マイケル・ラーソン先生、ジェームズ・モリス先生も、お忙しい中時間を割いて編集作業に取り組んで下さり、委員長としてありがたい限りでした。そして、いつもながら、ご多忙のところ突然の査読依頼をご快諾くださり、貴重なお時間を割いて丁寧に査読してくださった先生方に心よりお礼申し上げます。

論文の編集作業は、編集者自身の研究者としてのあり方を振り返る機会をもたらしてくれます。私がこの編集委員会に関わって以来、研究倫理についてや、自分の文章・ことばの一字一句に責任を持つことについて自省する契機となる出来事もありました。紀要とは言え、『外国語教育論集』が学術的論考を発表する場である以上、そこに載る文章は研究者としての矜持が感じられるものであるべきですし、そのような論集にしていきたいと思います。

高木 智世

外国語教育論集第42号

発行日 2020年3月31日  
発行者 筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター  
磐崎 弘 貞  
茨城県つくば市天王台1-1-1  
〒305-8577 Tel 029-853-2420  
印刷所 アシストプロ株式会社  
茨城県つくば市稲荷前24-18  
〒305-0061 Tel 029-863-3010

ISSN 0916-0051

筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター  
外国語教育部門

Center for Education of Global Communication  
Foreign Language Education Division  
University of Tsukuba